



期末試験も終わり、学生は春休みですが、まだまだ寒い日が続いています。法学類月報第 16 号では、仲正昌樹先生のご紹介、就職活動体験記、公認サークルによる出張法律相談と、広報グッズリニューアルのお知らせ 2 件をお届けします。



◆連載◆ 法学類の先生 第 14 回 仲正昌樹先生（政治思想史）

法学類の政治思想史と共通教育のドイツ語の授業を担当しています。毎年、「仲正のドイツ語の授業をとってはいけない」、と一年生向けに宣伝して回る人がいるようです。そのため一度も私の顔を見たことがないのに、「仲正は法学類のタブー、ヤバい!」と思っている人が結構いるようです。何で「ヤバい」のか説明してくれる人がいないので、自分で分析すると、具体的に考えられるのは、①ドイツ語やゼミ形式の授業で無断欠席や遅刻に対して厳しい、②居眠りや注意散漫状態を放置しない、③順番を決めないでランダムに当てる—の三点くらいです。あと、自分から学生をコンパなどに誘ったりすることがないので、「コミュ症」と見なされているようです——面倒くさいと思っているのは確かです。

元々法学部出身でなく、大学院時代はドイツ系の哲学と文学を専門にしていました。今でも政治思想史とはあまり関係ない、美術・演劇評論とかメディア文化論のような仕事も引き受けています。時事通信の社会時評などジャーナリズム関係の仕事もしています。法・政治思想史・哲学関係の単著を年に数冊出しています。学生や他の先生たちが私の著作に関心がなさそうなのをいいことに、著作の「あとがき」などで、学内ネタに触れていることもあります——毎回ではありません。

就職活動 体験記

「本音を伝える」ということ

就職活動を思い返すと、緊張や不安はもちろんありました。しかしお気楽な人間なので、初対面の人と会話する楽しさや熱く夢を語る社会人を見たときのわくわく感の方が強く心に残っています。

その中で私が心がけていたのは、相手に自分の本音を伝えるということです。自分が伝えたいことを正確に言葉にするために、自己分析に時間を多くかけました。東北を中心に大阪や名古屋

にも行って移動時間の多い就活だったので、物心ついてから今まで自分がしてきたことを書き出してみたり、普段会わない友人に連絡を取ってみたり、電車の中は自分を見つめなおす時間にあてていました。思っていることをそのまま伝えて面接で落ちることもありましたが、その時はこの企業と自分は合っていないかな、と思って引きずらないようにしていました。

今は就活の準備に追われて心に余裕のない時期かもしれません。内定を取ることに集中せず、その先自分がどういう道を歩みたいのか考える時間を楽しんでください。

法学類 4 年 (株)セブン-イレブン・ジャパンに就職内定) 森山優衣



■出張法律相談 (加賀市・白山市) のお知らせ

公認サークル「金沢大学法律相談所」では、3月8日(日)に、加賀市民会館および白山市鶴来総合文化会館・クレインにて、出張法律相談を開催します。法学類の学生が市民の皆様からの民事に関する法律相談をお受けし、法学類教員の確認を受けてからお答えを示します(労働・行政・刑事事件、税金関係の相談は対象となりません)。両日とも、10時から14時45分まで受付をしていますので、お気軽にご来場ください。

法学類 2 年 金沢大学法律相談所広報部長
渡邊真琴

■法学類手ぬぐい NEW バージョン登場!

在学生の皆さんの中で、高校時代オープンキャンパスに訪れ、法学類グッズをもらったという人はいませんか? 海外のお客様にも評判のグッズのひとつ、法学類手ぬぐいが、このほどデザインを変更して新しくなりました。

なんとこの手ぬぐい、トータルデザインは木村高宏先生が手がけています。そして中央の文字は福本知行先生のお母さまが書かれたもの、右隅の落款は羽賀由利子先生の作なのです。月報の寄稿者へもプレゼントしていますので、ほしい方はぜひ記事を寄せてくださいね!

法学類広報委員会



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類 HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>) に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。